京都・木戸孝允旧跡

石長松菊園

Ishichoshogikuen

館内案内

客室・西館　客室・東館　フロント　WC・お風呂　配膳室　非常口　消火栓　EV エレベーター

石長松菊園　施設概要

旅館名	石長松菊園
周辺環境	住宅地で閑静なところです。 繁華街まで徒歩約 10 分
建築構造	鉄筋コンクリート 5 階建 （一部 4 階建） 地下 1 階
収容人数	320 名
客室	和室（バス・トイレ・洗面台付き）：50 室 洋室（バス・トイレ付き）：2 室
食事場所	「夕食・朝食」地下 1 階 「菊の間」280 名収容 「松の間」120 名収容
浴場	20 名・2 ヶ所 30 名・1 ヶ所 （シャワー、シャンプー、リンス完備）
共同トイレ	6 ヶ所 車イス用トイレ 1 ヶ所
エレベーター	2 機（15 人乗り、11 人乗り）
打合せ場所	ロビー 40 名収容
防災設備	各部屋ごとに鉄筋コンクリートで仕切られており、火災発生の場合でも一部屋でおさまるよう設計。自動火災報知器・非常照明・非常ベル・防火扉
非常口	各館階段 2 ヶ所、非常口各階 2 ヶ所
遊戯施設	なし
自動販売機	あり（清涼飲料水等）
履物	各部屋にてスリッパに履き替えていただきます。
貴重品	各部屋の金庫または部屋ごとに貴重品袋にてフロントがお預かりいたします。

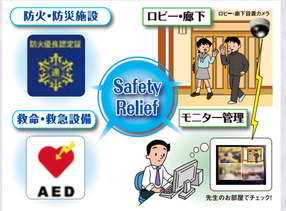
木戸孝允旧跡
石長松菊園
（いし ちょう しょう ぎく えん）

お問い合わせ
TEL. 075-222-1101　FAX. 075-231-3172
〒604-0901
京都市中京区河原町通竹屋町東入る
http://www.shogikuen.co.jp

石長松菊園は、京都観光に大変便利な拠点となります。

長年の経験を活かして思い出作りをお手伝い。

施設やソフト面のより一層の充実をめざし、教育旅行にふさわしい宿をご提供いたしております。



1. 自動火災報知機など非常用設備を完備しております。
2. 夜間は宿直者、警備員が勤務しております。
3. AED（自動体外式除細動器）を設置し、スタッフは京都市消防局の普通救命講習を受講しております。
4. 建物が西館と東館２棟ありますので、男女を棟で分けることができ、お部屋割りが容易な構造です。
5. お部屋まで下足のままお入りいただきますので、入館時の移動などがスムーズに行えます。
6. 全室、バス・トイレ・洗面台がございます。（生徒様には大浴場をお勧めしております。）
7. タオル・バスタオル・歯ブラシセットをご用意しております。
8. 環境問題に配慮し、リネン再利用プログラムに取組んでおります。
   バスタオル・タオル・シーツ・枕カバーの交換は、２日に一度とさせていただいております。
9. お食事は御会食場でご用意いたします。
10. 絵付け・舞妓鑑賞などの体験学習やレクリエーションなどを皆様ご一緒に行えます。
11. ロビー、出入口、廊下などに防犯カメラを設置、移動モニターでも生徒様の様子をご覧いただけます。
12. 貸切バスの乗降は徒歩約１分の河原町通と便利です。
    自主研修には、市バス「河原町丸太町」バス停まで徒歩約３分、地下鉄東西線「京都市役所前」駅まで徒歩約７分、大阪・宇治方面へは京阪電車「神宮丸太町」駅まで徒歩約６分など交通の便に恵まれております。新京極までは徒歩約 10 分です。
13. 環境保護活動の一環として、割り箸リサイクル運動に協賛しております。
14. 当館ホームページの社員で作るブログ「京のおさんぽ」を是非ご覧下さい。当館と京都の旬の素材をお届けしております。

山紫水明の地と謳われし京の歴史抱く、安隠の宿

京の山紫水明を支える鴨川の流れのすぐそば、木戸孝允公（桂小五郎）の邸宅跡に建つ当館は、京都の中心地にありながらも、静かで落ち着きのある宿です。京都御所や平安神宮にもほど近く、各有名観光地行きのバスや地下鉄、私鉄の駅も徒歩圏にある交通至便の場所にございます。当館は、創業半世紀あまり、数十万人の修学旅行生の皆様の思い出作りをお手伝いしてまいりました。

大人数を収容できる大広間をはじめ、安全で使いやすく、清潔な施設を整え、京都らしさを生かした自慢の料理メニューは毎日多くの生徒様や先生方にご好評いただいております。スタッフ一人ひとりがプロ意識を持って、皆様のおもてなしをさせていただきます。皆様のお越しを心よりお待ちもうしあげます。

石長松菊園　女将　石井晴美

菊の間

松の間

中庭

ロビー

和彩

一意専心のおもてなし

悠久の歴史に培われた京都。
人生の良き思い出の
一ページとなりますよう、
一意専心のおもてなしで
みなさまをお迎えいたします。

御所の湯

金閣の湯

銀閣の湯

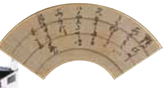
真如堂
三重塔

客間（西館）

客間（東館）

維新の歴史を身近に感じる木戸孝允ゆかりの地。

明治政府の要職にあった木戸孝允は改名前を桂小五郎といい、明治維新で活躍した長州藩の中心人物。藩の重職に就いて藩論を討幕へと導き、薩長連合を締結しました。維新の舞台となった京都でもその活躍はめざましく、幕府側から命を狙われながらの暗躍や、後に夫婦となる芸妓・幾松とのロマンスなど、数々の逸話が残されています。木戸孝允は明治の要人となった後京都に屋敷を構えますが、当館が建つのはまさにその跡地。名前も、創業者の名字の他に、長州藩から一字をいただいて「いしちょう」と名付けられました。また当館東側には、木戸公が暮らし続けていた屋敷の一部が今もそのままの姿で残されています。
歴史上の人物に対して親近感を抱ける当館での滞在は、生徒様の好奇心を刺激し、学びの良い助けとなることでしょう。



木戸孝允邸宅跡に建つ当館。東隣には孝允が暮らした屋敷が残り、館内にはゆかりの品も展示されています。